

神奈川の身近な自然を訪ねて
～富岡・かつての別荘地の自然と史跡を訪ねる～

日時：2022年12月14日(水)、17日(土) 10:00～14:30

場所：横浜市磯子区、金沢区

参加者：一般50名(14日28名、17日22名)、スタッフ8名

午前は、JR新杉田駅をスタートし、路線バスで鳥見塚バス停へ。路線バスを下車の後、富岡総合公園、芋観音として、また、直木三十五の墓で知られている長昌寺、孫文上陸記念碑、昭和20年6月富岡空襲の犠牲者の慰霊塔が建立されている慶珊寺等を訪ね、船溜まりへ向かいました。

富岡総合公園では、海拔高度50mほどの見晴台へ上がり、横浜の本牧から金沢八景に続く埋め立て地、東京湾の対岸に広がる房総半島の景観を観ました。また、湧き水やアメリカスズカケ、シロダモ、クスノキ、シャリンバイ、クロガネモチ、カクレミノ、ムクノキ、イヌビワ等の果実、ヤドリギなどを観察することができました。

長昌寺では、イヌマキの果実、名木古木に指定されているビャクシンやケヤキ等を、慶珊寺ではシキミ、直木三十五文学碑/住居跡ではバショウを観察しました。

午前の最後、富岡八幡宮前の公園で、メタセコイア、ユリノキ、ラカンマキ等を観察した後、昼食としました。12月14日(水)は、強風のため、富岡八幡宮前の公園で昼食としました。12月17日(土)は予定通り、船溜まりで昼食としました。

午後は、富岡八幡宮を見学した後、古道を歩き、持明院の経塚に向かいました。経塚は、筒に入れた経文を土中に埋め、その上に築かれた塚です。56億7千万年後、弥勒菩薩が現れ、民衆を救済してくれるまで経典を保存する目的で築かれたとのこと。

経塚の見学後、京急富岡駅で解散としました。



富岡総合公園/湧き水



富岡総合公園/見晴台

次ページに続く



長昌寺



船溜まり



富岡八幡宮



持明院の経塚



富岡総合公園のヤドリギ



富岡総合公園のクロガネモチ